

### 第3節 繩文時代における蛇紋岩製石斧について

#### (1) はじめに

上水流遺跡の縄文時代前期の石斧については先述したとおりである。これらを構成する石材については、表1に示すが、この中で注目すべき石材としては蛇紋岩が挙げられる。蛇紋岩は確認されている産地は極めて限られており、上水流遺跡の曾畠式土器段階では石斧の内13%が蛇紋岩である点や、剥片が極めて少ないことが確認されている。このことから、該期の交流の一端を示す資料であると考え、縄文時代における県本土の蛇紋岩製磨製石斧の出土遺跡を中心に以下に考察を加えたい。

#### (2) 蛇紋岩とは

蛇紋岩は、暗緑色から黄緑色の岩石で、蛇の皮の模様に似ていることから名付けられた。地学的には蛇紋石を主成分とする岩石を蛇紋岩という。蛇紋石はMg/Si205(OH)4の化学組成を持つ鉱物族であることから蛇紋岩はマグネシウムを大量に含んだ岩石であることが分かる。また、クロムやニッケルを含んでいることが多い。このうちニッケルは時として植物の生育に障害を与えることがあり、蛇紋岩地帯の植生は低い海拔高度でも高山植物群を有するなど特異な植物群から成っていることが多い。また、蛇紋岩の周辺部には、まわりの黒色片岩との間に成分の交換作用が働き滑石帯、絹雲母・緑泥石帯、曹長石帯などの規則的な種々の变成鉱物の集合帯が形成されることがある。本遺跡及び周辺遺跡でも、石鍋をはじめ滑石製品が多数出土していることから、蛇紋岩の産地同定と合わせ関連を探る必要性を感じる。

#### (3) 蛇紋岩原産地及び蛇紋岩製石斧出土遺跡の分布

これまで、県内において蛇紋岩を扱った論考は少なかったが、石器原産地研究会において九州島内を対象として各県の動静がまとめられ、その中で星野一彦氏と國師洋之氏によって、「蛇紋岩製の磨製石斧は、中期頃から晩期まで点数は少ないものの出土」している現状が紹介された。また、「薩摩半島北部の出土が多」といとも指摘されている(星野・國師 2005)。ただし、頻繁に出土せず、また原産地も上述のとおり現在知られている範囲では県内でも限られていることもあり、報告書等ではたびたび注意が促されている。

蛇紋岩の原産地においては県内では薩摩半島の川辺町八瀬尾瀬周辺、同じく薩摩半島南西部の野間半島の狭いエリアにおいて分布が確認されているが、大隅半島周辺での産地は知られていない。離島では徳之島町剥岳の麓(三京へ通じる林道)でも採集できる。最近、さつま町の鍋山周辺に滑石の分布が確認でき、蛇紋岩の分布も考えられる。隣県では、臼杵・八代構造線のなかに産地が確認されている。

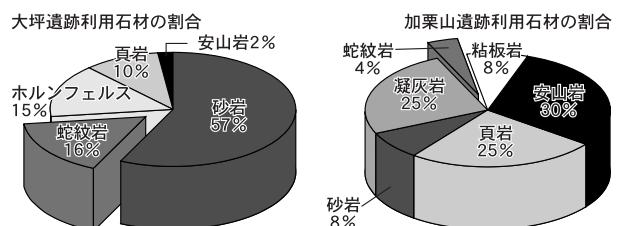
第182図は、筆者が知り得た「蛇紋岩製磨製石斧出土

遺跡分布図」である。この資料からも星野・國師の両氏が指摘するように1つ目のエリアとして県北に出土遺跡が比較的集中することがうかがえる。また、錦江湾周辺を2つ目のエリアとしながら薩摩半島においては全域に広がっているが、特に南薩に集中している。更に本遺跡同様南薩の中山遺跡(南さつま市)からも蛇紋岩の剥片が出土しており注目したい。一方で、大隅半島においては中央部にやや集中区が見て取れるが、全体的に出土例が少ない。遺跡数の少なさは否めないが、先に挙げた原産地からの距離との関連性も考えられる。

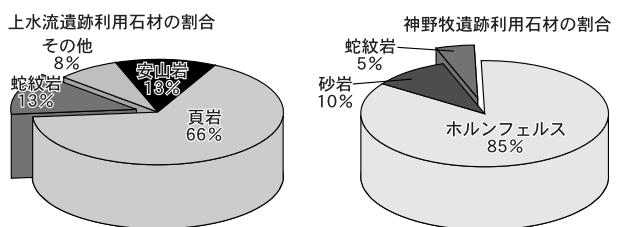


第182図 蛇紋岩製磨製石斧出土遺跡分布図

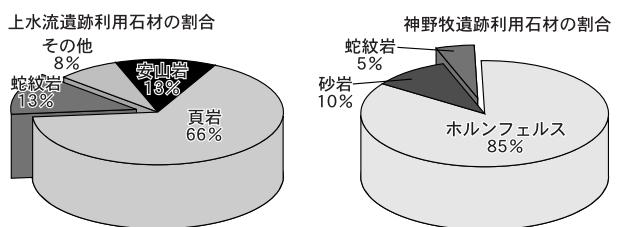
#### 【北薩・大坪遺跡】後～晩期) 【中央部・加栗山遺跡】早期)



#### 【南薩・上水流遺跡】前期)



#### 【大隅・神野牧遺跡】前期)



第183図 磨製石斧利用石材の割合

第183図は、「地域別の主な遺跡における磨製石斧利用石材の割合」を示すグラフである。

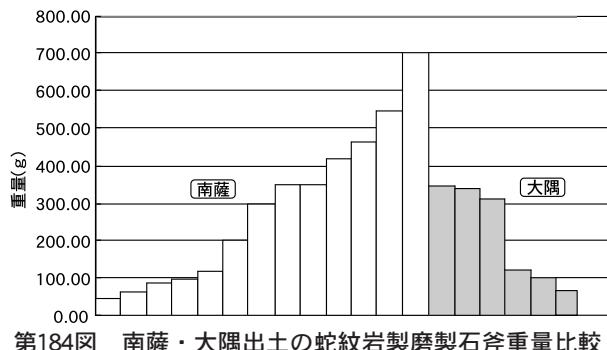
表11 遺跡一覧表

## ① 蛇紋岩及び緑色石材を用いた磨製石斧出土遺跡

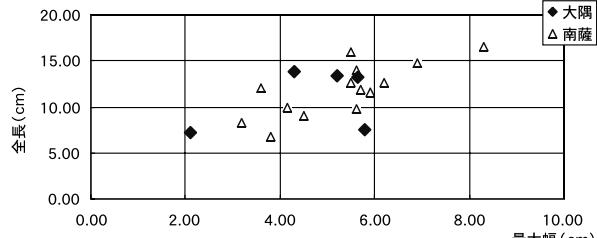
遺跡名	所在	石材	器種	全長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	幅厚比	重量(g)	草創期	早期	前期	中期	後期	晚期
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧	6.10	5.20	1.80	2.89	61.70						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	綠色片岩	磨製石斧	13.70	4.90	2.40	2.04	239.00						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧	(1.50)	(2.80)	(0.40)	7.00	(1.50)						
加栗山遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	磨製石斧	6.10	3.50	1.20	2.92	39.00						
窪見ノ上遺跡	日置市吹上	蛇紋岩	石斧	6.80	3.80	1.70	2.24	44.50						
尾ヶ原遺跡	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	12.70	5.50	2.30	2.39	700.00						
神野牧遺跡	鹿屋市津川	蛇紋岩	磨製石斧	13.30	5.65	3.60	1.57	337.50						
南田代遺跡	南九州市川辺	蛇紋岩	磨製石斧	9.90	4.16	1.50	2.77	85.50						
上水流遺跡3	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	9.80	5.60	1.30	4.31	117.90						
上水流遺跡3	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	12.00	3.60	1.40	2.57	95.10						
上水流遺跡3	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	16.50	8.30	2.30	3.61	464.00						
松山田西遺跡	鹿屋市根木原	蛇紋岩	磨製石斧	9.05	4.50	1.65	2.73	98.10						
西原遺跡	日置市伊集院	蛇紋岩	磨製石斧	(3.55)	(2.50)	(0.70)	3.57	(6.04)						
出水貝塚	出水市中央	蛇紋岩	磨製石斧	9.10	4.80	1.50	3.20	100.00						
一本松遺跡	霧島市福山	蛇紋岩	小型石斧	8.50	4.20	1.80	2.33	86.20						
一本松遺跡	霧島市福山	蛇紋岩	大型石斧	8.90	4.90	1.50	3.27	131.30						
江内貝塚	出水市高尾野	蛇紋岩	小型磨製石斧											
中原遺跡	姶良郡姶良町	蛇紋岩	磨製石斧	8.90	4.20	1.90	2.21	115.00						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	ノミ形磨製石斧	8.79	5.28	1.88	2.81	107.05						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	ノミ形磨製石斧	9.47	4.35	1.29	3.37	105.89						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	ノミ形磨製石斧	(5.15)	(3.55)	(1.15)	3.09	(27.30)						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	ノミ形磨製石斧	9.98	2.41	2.06	1.17	74.45						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	ノミ形磨製石斧	9.65	3.03	1.61	1.88	70.87						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	石斧	6.02	4.56	1.51	3.02	57.96						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	石斧	12.59	7.90	4.33	1.82	710.00						
山ノ中遺跡	鹿児島市西別府町	蛇紋岩	石斧	8.42	4.01	1.97	2.04	96.94						
大牟田遺跡	大口市下殿大牟田	蛇紋岩	磨製石斧	10.50	6.00	2.90	2.07	246.00						
大牟田遺跡	大口市下殿大牟田	蛇紋岩	磨製石斧	(5.40)	(3.40)	(0.40)	8.50	(10.50)						
山崎A遺跡	湧水町要野	蛇紋岩	磨製石斧	(3.10)	3.70	13.00	0.28	(20.20)						
干迫遺跡	姶良郡加治木町	蛇紋岩	磨製石斧	(6.30)	1.50	1.30	1.15	19.94						
干迫遺跡	姶良郡加治木町	蛇紋岩	磨製石斧	(6.20)	2.80	0.60	4.57	28.25						
楠元遺跡	薩摩川内市	蛇紋岩	石斧	(7.10)	1.95	1.75	1.11	40.54						
野田畠遺跡	出水市野田	蛇紋岩	局部磨製石斧	9.50	4.20	1.60	2.63	91.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	12.94	6.02	2.27	2.65	264.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	15.70	6.10	4.05	1.51	545.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	17.57	4.20	1.52	2.76	65.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	8.20	4.60	0.72	6.39	48.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	8.10	3.78	1.46	2.59	70.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	6.08	2.93	1.20	2.44	36.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	5.22	2.20	1.00	2.20	19.00						
大坪遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	11.55	2.14	1.60	1.34	45.00						
尾崎B遺跡	出水市	綠泥片岩	磨製石斧	9.00	5.10	1.90	2.68	130.00						
尾崎B遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	(11.50)	(7.40)	(2.70)	2.74	390.00						
帖地遺跡(縄文編)	鹿児島市臺入	蛇紋岩	磨製石斧	16.00	5.50	3.40	1.62	415.26						
二浦遺跡	長島町	蛇紋岩	磨製石斧	(5.30)	(2.40)	(1.40)	1.71	(60.00)						
二浦遺跡	長島町	蛇紋岩	石斧	(4.10)	(6.50)	(1.50)	4.33	(50.00)						
島巡遺跡	大口市	綠泥片岩	磨製石斧	(9.90)	(5.00)	(1.90)	2.63	(138.00)						
尾ヶ原遺跡	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	11.60	5.90	3.10	1.90	297.50						
尾ヶ原遺跡	南さつま市金峰	綠色片岩	磨製石斧	14.70	6.90	3.70	1.86	546.00						
諭訪牟田遺跡	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	8.20	3.20	1.60	2.00	62.00						
上水流遺跡1	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	12.70	6.20	2.90	2.14	350.00						
上水流遺跡2	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	11.90	5.70	2.90	1.97	350.00						
塚ヶ段遺跡( )	曾於市末吉	蛇紋岩	石斧	7.20	4.00	1.40	2.86	65.00						
飯盛ヶ岡遺跡	鹿屋市	蛇紋岩	石斧	13.80	6.40	2.40	2.67	348.00						
飯盛ヶ岡遺跡	鹿屋市	綠泥岩	石斧	(5.90)	2.10	1.15	1.83	(24.86)						
飯盛ヶ岡遺跡	鹿屋市	蛇紋岩	石斧	(9.00)	4.30	2.70	1.59	170.76						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧	6.00	3.00	1.20	2.50	34.40						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧	11.10	3.50	1.60	2.19	96.10						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧	(6.50)	(4.00)	(2.80)	1.43	(59.60)						
上野原遺跡	霧島市国分上野原	蛇紋岩	磨製石斧(未製品)	10.70	5.90	3.80	1.55	352.00						
山内遺跡	枕崎市	蛇紋岩	磨製石斧	9.00	4.50	1.50	3.00							
霜月田遺跡	薩摩川内市	蛇紋岩	石斧	(4.56)	(4.16)	(2.13)	1.95	(50.00)						
沖田岩戸遺跡	姶良郡姶良町	蛇紋岩	磨製石斧	(8.10)	3.90	1.40	2.79	80.00						
沖田岩戸遺跡	姶良郡姶良町	蛇紋岩	磨製石斧	(4.90)	(4.40)	1.60	(2.75)	40.00						
下掘遺跡	南さつま市金峰	蛇紋岩	磨製石斧	(2.05)	(2.80)	(0.55)	5.09	(4.30)						
諭ヶ原遺跡	薩摩川内市東郷	綠泥片岩	小型磨製石斧	(2.60)	(1.80)	(1.00)	1.80	4.03						
立山B遺跡	曾於郡大崎町	蛇紋岩	石斧	(11.49)	(7.39)	(3.99)	1.85	360.00						
立山B遺跡	曾於郡大崎町	蛇紋岩	石斧	(6.51)	(7.34)	(1.81)	4.06	271.00						
道下段遺跡	出水市高尾野	蛇紋岩	磨製石斧	(6.50)	(5.10)	(2.50)	2.04	(119.00)						
新畠所後遺跡	指宿市	綠泥片岩	磨製石斧	(4.90)	(3.25)	(1.21)	2.59	(22.00)						
石塚遺跡	霧島市隼人	蛇紋岩	磨製石斧	(7.20)	(2.80)	3.20	(0.88)	(60.00)						
石峰遺跡	霧島市溝辺	蛇紋岩	磨製石斧	19.70										
妻之裏貝塚	薩摩川内市	蛇紋岩	ノミ状石斧	(4.40)	1.60	1.30		(14.50)						
妻之裏貝塚	薩摩川内市	蛇紋岩	ノミ状石斧	(7.45)	1.80	1.35		(42.90)						
妻之裏貝塚	薩摩川内市	蛇紋岩	ノミ状石斧	8.52	2.25	1.70		61.20						
妻之裏貝塚	薩摩川内市	蛇紋岩	磨製石斧	13.00	4.60	2.85		280.00						
移原貝塚	垂水市移原	蛇紋岩	石斧	13.40	5.20	2.90		310.00						
諭ヶ原遺跡	薩摩川内市東郷	蛇紋岩	磨製石斧	14.70	6.30	2.20		276.00						
原田久保遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	石斧	9.60	4.70	1.40		88.80						
原田久保遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	石斧	7.70	4.70	1.80		111.80						
桜ノ原遺跡・第3分冊	南さつま市	蛇紋岩	磨製石斧	14.05	5.60	1.95		200.70						
大龍遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	打製石斧	13.10	6.10	2.10								
中尾遺跡	鹿屋市吾平	蛇紋岩	磨製石斧	7.50	5.80	1.40		120.00						
中ノ丸遺跡	鹿屋市大浦	蛇紋岩	磨製石斧	8.75	3.20	1.08		51.96						
向裕城跡	日置市東市来町	蛇紋岩	磨製石斧	(4.30)	(6.60)	(1.50)		(62.71)						
柿内遺跡	出水市	蛇紋岩	磨製石斧	(10.50)	(5.55)	(3.30)		(320.00)						
吹上小中原遺跡	日置市吹上	蛇紋岩	磨製石斧	(5.00)	4.95	1.20		32.00						
城ヶ尾遺跡	霧島市福山	蛇紋岩	磨製石斧	(9.26)	(5.26)	(1.88)		134.00						
原田久保遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	石斧	(6.35)	6.85	2.15		(120.40)						
原田久保遺跡	鹿児島市	蛇紋岩	石斧	(8.05)	6.95	2.75		(305.30)						
中山遺跡	南さつま市	蛇紋岩	磨製石斧	(8.10)	(7.50)	(2.75)		150.60						
中山遺跡	南さつま市	蛇紋岩	磨製石斧	(2.30)	(1.45)	(0.45)		(1.90)						
中山遺跡	南さつま市	蛇紋岩	磨製石斧	(2.70)	(1.50)	(0.60)		(2.40)						
格原貝塚	垂水市格原	蛇紋岩	石斧	(8.20)	(3.90)	(2.70)		(97.10)						
格原貝塚	垂水市格原	蛇紋岩	石斧	(9.60)	(6.00)	(3.10)		(255.00)						
格原貝塚	垂水市格原	蛇紋岩	石斧	(10.20)	(4.90)	(2.90)		(190.00)						

また、蛇紋岩製の石斧においては、産地から離れるに従い小型化していく傾向にあるという指摘もある。そこで、県内原産地に隣接する南薩と遠距離にある大隅出土の完形資料の大小を比較することにした。第184図では、両地域の重量を対比し、第185図は、長幅比（全長 / 最大幅）を示す。両図から、やや大隅出土のものが南薩出土のものに比べ小振りな感を受ける。しかし、資料数が結論を導き出すほど十分ではなく、蛇紋岩については、他の石材以上に科学分析による産地同定が困難であることから、今後より一層の資料の蓄積と一点一点の実見による分類とが要求される。

#### (4) 各時期の出土状況



第184図 南薩・大隅出土の蛇紋岩製磨製石斧重量比較



第185図 南薩・大隅出土の蛇紋岩製磨製石斧長幅比

表11は、蛇紋岩及び緑色の石材を用いた磨製石斧及び垂飾品等の出土遺跡一覧である。時期区分が明確にできない遺跡や資料もあるが、現在のところ県内遺跡では草創期における蛇紋岩製磨製石斧の出土は確認されていない。

早期に入ると加栗山遺跡（鹿児島市）から2点、窪見ノ上遺跡・尾ヶ原遺跡（南さつま市）から各1点ずつ出土している。しかも前平式土器との共伴もあり、早期前葉を示す資料も出土していることは注目に値する。また、上野原遺跡（霧島市国分）からは平柄式土器に伴う早期後葉を示す資料が3点出土している。

前期から中期にかけては時期区分が困難な遺跡が多く出土例も少ないが、本報告の上水流遺跡（南さつま市）から3点、神野牧遺跡（鹿屋市）、南田代遺跡（南九州市）からそれぞれ1点出土している。

後期に入ると、山ノ中遺跡（鹿児島市）、大牟田遺跡（伊佐市）、干迫遺跡（姶良郡加治木町）等から複数点ずつ出土し、中原遺跡（姶良郡姶良町）、山崎A遺跡

（湧水町）、楠元遺跡（薩摩川内市）からもそれぞれ1点ずつ出土している。この時期には、出土遺跡数が増加すると共に、一つの遺跡からまとまった数で出土する傾向も見られる。

晩期でも、尾ヶ原遺跡、上水流遺跡（南さつま市）、沖田岩戸遺跡（出水市）、立山B遺跡（大崎町）からそれぞれ2点、飯盛ヶ岡遺跡（鹿屋市）から3点、上野原遺跡（霧島市国分）から4点と後期と同様に一遺跡内から複数点出土の傾向が見られる。

総括すると、後期から晩期にかけては出土量が著しく増加していることが分かり、従来からの指摘を本県でも追認できる結果が得られた。一方で、草創期には出土例がなく、早期前葉段階から晩期まで切れ目なく継続的に出土していることも指摘できる。

#### (5) 各時期の形状

第186～189図は、各時期の蛇紋岩と主な他石材製磨製石斧の完形資料に限り、それぞれが有する属性を比較したものである。第186図は、他石材製の「磨製石斧長幅比（全長 / 最大幅）」を示したものであるが、これを見ると、全長2.5～12cmで幅1.5～4.5cm、全長8.5～18cmで幅4.5～6cm、全長10～20cmで幅6～9cm程の小・中・大型に分類できるようである。更に、各時期ごとに見るとやはり、一定のサイズのグループ化を見せながらも、ほぼ同一の傾きをもった直線（軸）上に規則的に並ぶ傾向にあることも分かる。これは、目的や用途等に応じて大きさは変えながらも形状としては、装着や握りなどの観点から利便性を求めて、一定の形状を維持しようとしたからではないだろうか。

第187図により蛇紋岩製に絞って見てみると早期では、傾きおよそ「3:3」を軸に、全長6～8cm程で幅3～4cm程、全長12～14cm程で幅4～6cm程の2グループに大別できる。

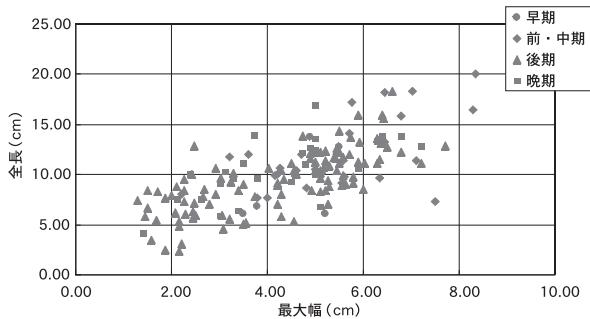
前・中期ではおよそ「1:85」を軸に、全長8～14cm程で幅3～6cm程、全長14cm以上で幅も8cmを超えるものの2グループに分類できる。

後期では、およそ「1:45」を軸に、全長5cm～12cm程で幅3～6cm程、全長8cm～12cm程で幅2～4cm程、全長12cm以上で幅も7cmを超えるものの3グループに分けられる。

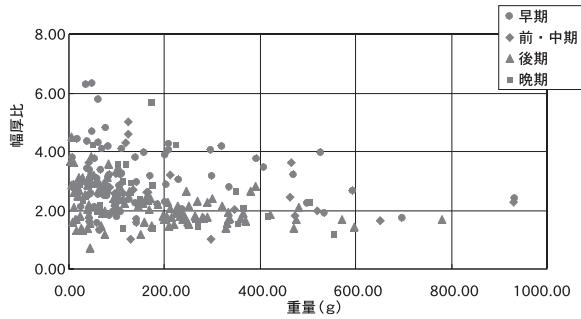
晩期では、およそ「2:1」を軸に、全長6～12cm程で幅3～5cm程、全長10～15cm程で幅5～7cm程の2グループに分類できる。

早期から前・中期、後期へと進むにつれ、傾きが次第に小さくなることから、縦長タイプから横幅の張ったものへと移行していくことが分かる。そして、晩期に入るとまた、やや縦長に落ち着くことが分かる。これは、他石材の磨製石斧の形状と一致する。

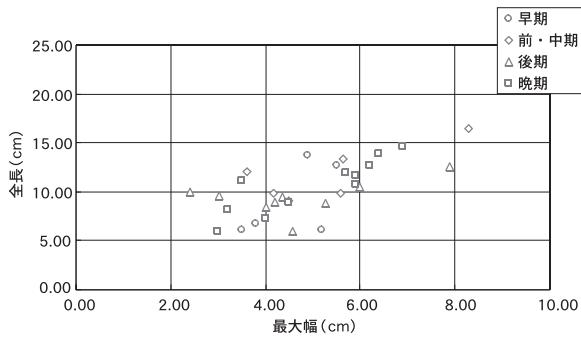
第188図は、他石材製の磨製石斧の「幅厚比（最大幅



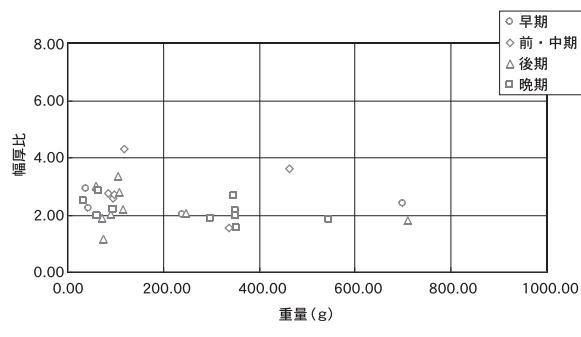
第186図 磨製石斧の長幅比



第188図 磨製石斧の幅厚比と重量の関係



第187図 蛇紋岩製磨製石斧の長幅比



第189図 蛇紋岩製磨製石斧の幅厚比と重量の関係

／最大厚）と重量の関係」を示したものである。この図から大きく次の3つのサイズに分類できる。それぞれ、小型（重量100g程を中心とし幅厚比1.0～6.0程度）、中型（重量400g程を中心とし幅厚比1.5～4.0程度）、大型（重量800g程を中心とし幅厚比1.5～2.5程度）である。また、サイズが大型化するにしたがい反比例するように幅厚比が小さくなり、比幅も狭まっていく傾向にある。大型化にともない形状の画一化の傾向がうかがえ、出土数も少なくなっていくようである。これを時期ごとに概観すると、どの時期も同様に小・中型主流で、際立った差違は見受けられない。

第189図の「蛇紋岩製磨製石斧の長幅比と重量の関係」からは、より一層明確に3つのサイズに分類され、基本的には他石材と一致することが分かる。

#### (6) まとめ

これまで、県内の蛇紋岩製磨製石斧を見てきて、おぼろげながら次のようなアウトラインが浮かんできた。

縄文時代早期から晩期まで継続的に出土し、後期から晩期にかけて出土量・遺跡数が増える。

分布は錦江湾周辺を中心としながら北薩・南薩に集中する傾向にある。大隅の出土例は少ない。

県内原産地に比較的近い南薩と遠い大隅の完形品を比較すると南薩の方がやや大型の傾向がある。

蛇紋岩剥片の出土が南薩の遺跡に見られる。

形状は他石材製のものとほぼ一致し、時期ごとの差違は見受けられない。サイズは小・中型のものが主流である。

以上、稚拙ながら県内蛇紋岩製磨製石斧出土遺跡を概

観し感じたことを列記してきた。その中で、改めて今後の課題や方向性が見えてきた。蛇紋岩剥片や石斧未製品の分布に留意し原産地や石器製作過程等について考察を深めることもその一つである。また、使用痕や裂痕等に目を向け用途を追究することも必要である。何よりも各遺跡や出土品一点一点のより細かな観察・実見が重要であることは言うまでもない。

#### 引用・参考文献

- 水ノ江和同 2005「縄文時代の石斧研究 - 九州を中心として - 」『Stone Sources 5』石器原産地研究会会誌  
 敦賀啓一郎 2005「福岡県における縄文時代の石斧 - 磨製石斧を中心と - 」『Stone Sources 5』石器原産地研究会会誌  
 星野一彦・國師洋之 2005「鹿児島県における縄文時代の磨製石斧と石材」『Stone Sources 5』石器原産地研究会会誌  
 山川続 2005「長崎県西彼杵半島一帯の変成岩および蛇紋岩について」石器原産地研究会 第6回研究集会  
 上野平優紀 2005「縄文時代における蛇紋岩製磨製石斧の消長について」石器原産地研究会 第6回研究集会  
 池田晋 2006「縄文時代蛇紋岩製石斧の流通」『考古学研究53-3』考古学研究会

（佐藤義明）

#### 第4節 中・近世の上水流遺跡について

ここでは、昨年度刊行の『上水流遺跡2』で報告することができなかった中・近世の包含層出土遺物について報告する。上水流遺跡の当該時期について遺跡の概略を述べ中・近世全体の総括に変えたい。なお、昨年度刊行